

長目塚古墳の研究

有明海・八代海沿岸地域における
古墳時代首長墓の展開と在地墓制の相関関係の研究

課題番号：22320160

2010年度～2013年度科学研究費補助金

基盤研究（B）研究成果報告書

研究代表者 杉井 健

熊本大学文学部准教授

2014年3月

熊本大学文学部

例 言

1. 本書は、独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金の交付を受けて実施した研究の成果報告書である。研究の種目、課題名、期間等は以下の通りである。

研究種目：基盤研究 (B)

課題番号：22320160

研究課題名：有明海・八代海沿岸地域における古墳時代首長墓の展開と在地墓制の相関関係の研究

研究組織：研究代表者 杉井 健 (熊本大学文学部)

研究期間：2010年度 (平成22)～2013年度 (平成25)

交付額：2010年度 直接経費 4,100千円 間接経費 1,230千円

2011年度 直接経費 2,800千円 間接経費 840千円

2012年度 直接経費 1,800千円 間接経費 540千円

2013年度 直接経費 2,200千円 間接経費 660千円

研究成果：本書

研究発表：

杉井 健 2010「肥後地域における首長墓系譜変動の画期と古墳時代」『九州における首長墓系譜の再検討』第13回九州前方後円墳研究会鹿児島大会発表要旨集、九州前方後円墳研究会：pp. 131-184

杉井 健 2011「熊本県阿蘇市中通古墳群の基礎的研究1－東岳川西側の古墳名称の整理－」『熊本古墳研究』第4号、熊本古墳研究会：pp. 13-22

杉井 健 2012「石室の構造」『大野窟古墳発掘調査報告書』氷川町教育委員会：pp. 47-73・86-88

安田未来編(杉井監修著作) 2013「平原古墳群調査報告1」『考古学研究室報告』第48集、熊本大学文学部考古学研究室：pp. 1-38

留野優兵編(杉井監修著作) 2014「平原古墳群調査報告2」『考古学研究室報告』第49集、熊本大学文学部考古学研究室：pp. 1-28

2. 本書は4部構成をとる。第1部では本研究の目的と経過を、第2部では長目塚古墳(熊本県阿蘇市一の宮町中通1201-1所在)出土遺物の再整理報告を、第3部では本研究に協力いただいたメンバー各人による個別研究の成果を示し、第4部でそれらを総括した。なお、当補助金の一部を用いて実施した古墳の測量調査・発掘調査の成果については、すでに別の図書(上記1の研究発表：安田編2013, 留野編2014)で公表しているので、本書に再録することはしなかった。
3. 第2部で報告した長目塚古墳出土遺物は、阿蘇神社の所蔵品である。
4. 図版写真のうち、図版1は国土地理院保有の米軍撮影空中写真(USA-M100-50, 1947年3月4日撮影)を複製したものである。また、図版2～12・68の写真は坂本経昌氏、徳永文代氏より、図版61～65のX線画像は橋本達也氏(鹿児島大学総合研究博物館)より、図版66・67のX線CT画像は鳥越俊行氏(九州国立博物館)より提供を受けた。これら以外の図版写真は杉井が撮影した。なお、長目塚古墳出土遺物については、現状を記録し今後の管理に役立てる目的から表裏両面の掲載を原則とした。
5. 図10は国土地理院発行の5万分の1地形図(菊池, 阿蘇山, 御船, 高森)を、図66は2万5千分の1地形図(天草松島)を複製したものである。図13～16の写真は富田紘一氏より提供を受けた。
6. 長目塚古墳出土遺物の再整理作業は、杉井のほか、木村龍生、竹中克繁、檀佳克、西嶋剛広、三好栄太郎が担当した。また、松ヶ野(後藤)恵、牧野(島津屋)幸子、松崎友理、田中麻里子、甲斐郁、入江由真、原梓から多くの補助を受けた。
7. 本書の編集は、杉井健が担当した。執筆分担は、目次および各文末に示した。

長目塚古墳の研究

目 次

巻頭図版

例 言

第 1 部	研究の目的と経過	1
第 1 章	研究の背景と目的	杉井 健 … 3
第 2 章	研究の経過	〃 … 4
第 3 章	謝 辞	〃 … 6
第 2 部	長目塚古墳の研究	9
第 1 章	中通古墳群の概要	杉井 健 … 11
第 1 節	阿蘇と中通古墳群	11
第 2 節	中通古墳群の古墳分布と東岳川西側に所在する古墳の名称整理	11
1	中通古墳群の古墳分布	11
2	東岳川西側に所在する古墳の名称整理	15
(1)	東岳川西側所在古墳の名称についての 2 つの見解	15
(2)	名称混乱の原因	16
①	上鞍掛塚 B 古墳についての報告内容の検討	16
②	鞍掛塚 A 古墳についての報告内容の検討	18
③	乙益 1962 における上鞍掛塚 B 古墳と鞍掛塚 A 古墳の墳丘測量図の入れ違い	18
(3)	『熊本県遺跡地図』の名称にしたがった墳丘測量図の提示	19
第 2 章	長目塚古墳にかんする過去の調査と成果	杉井 健 … 23
第 1 節	1949・1950 年の調査（熊本県による発掘調査）	23
1	調査に至る経緯と経過	23
2	調査の成果および若干の検討	23
(1)	墳丘の構造	23
(2)	前方部石室の構造	26
(3)	前方部石室の遺物出土状況	27
(4)	前方部石室の被葬者	29
(5)	前方部石室出土遺物の種類と数	29
(6)	墳丘出土の須恵器・土師器・埴輪	30
第 2 節	1989 年の調査（熊本大学による測量調査）	31
第 3 章	出土遺物	33
第 1 節	前方部石室出土の遺物	33
1	鉄刀	西嶋剛広 … 33
(1)	出土状況および 1962 報告との関係	33

	(2) 鉄刀 1	33
	(3) 鉄刀 2	34
	(4) 鉄刀の時期的位置付け	34
2	鉄鏃	三好栄太郎 37
	(1) 1962 報告との関係および部位名称・計測箇所	37
	(2) 短頸片刃鏃	37
	(3) 長頸柳葉鏃	39
	(4) 茎部・矢柄	44
	(5) 鉄鏃の時期的位置付け	44
3	刀子	杉井 健 44
	(1) 出土状況および 1962 報告との関係	44
	(2) 各個体の観察	44
	(3) 刀子の特徴と時期的位置付け	48
4	鉄斧	杉井 健 48
5	鏡	西嶋剛広 49
6	玉類	// 50
	(1) 出土状況および 1962 報告との関係	50
	(2) 勾玉	50
	(3) 管玉	51
	(4) ガラス玉	55
	(5) 滑石製白玉	56
第 2 節 墳丘出土の遺物 56		
1	須恵器	木村龍生 56
	(1) 出土状況および 1962 報告との関係	56
	(2) 甕	57
	(3) 無蓋高坏	59
	(4) 脚付短頸壺	60
	(5) 器台	60
	(6) 壺	61
	(7) 甕	61
	(8) 所在不明の 1962 報告資料	62
	(9) 須恵器の特徴と時期的位置付け	63
2	土師器	檀 佳克 63
	(1) 資料の状態および 1962 報告との関係	63
	(2) 高坏	66
	(3) 坏	67
	(4) その他	68
	(5) 土師器の特徴と時期的位置付け	68
3	埴輪	竹中克繁 69
	(1) 埴輪の種類・全形復元と時期的位置付け	69
	(2) 大型円筒埴輪	71
	①口縁部	71
	②胴部	71
	③底部	75

(3) 中型円筒埴輪	75
(4) 壺形埴輪	76
①単口縁壺口縁部	76
②二重口縁壺口縁部・頸部	77
③肩部・胴部・底部	78
(5) その他の線刻ある破片	83
第3節 古墳にともなわない遺物	83
フイゴ羽口	檀 佳克 83
第4章 まとめ	杉井 健 85
第1節 墳丘および前方部石室	85
第2節 出土遺物	86
1 前方部石室出土遺物	86
2 墳丘出土遺物	86
第3節 古墳の評価	86
第3部 有明海・八代海沿岸地域における古墳時代墓制の研究	89
第1章 阿蘇神社所蔵資料にみる長目塚古墳発掘調査の舞台裏	緒方 徹 91
第2章 古墳時代における天草砂岩の利用	高木恭二・芥川博士 99
第3章 石障系石室と箱式石棺	古城史雄 113
第4章 熊本県地域の古墳における土器使用の受容と変遷	木村龍生 125
第5章 古墳時代中期長頸鏃の展開―熊本県を中心に―	三好栄太郎 143
第6章 管切り法・連珠法によるガラス玉に関する一考察―長目塚古墳出土資料の観察―	西嶋剛広 155
第7章 消費地出土の天草式製塩土器	藤本貴仁 163
第8章 長目塚古墳から出土した赤色顔料について	志賀智史 175
第4部 総括	195
総括	杉井 健 197

図 版

図 版 目 次

巻頭図版	長目塚古墳前方部石室出土主要遺物
図版 1	空からみた中通古墳群とその周辺（東岳川流路変更工事以前，中央の前方後円墳が長目塚古墳，1947年3月4日米軍撮影）
図版 2	1 長目塚古墳と流路変更工事以前の東岳川（1949・50年調査） 2 前方部が削平された長目塚古墳と流路変更工事後の東岳川（1949・50年調査）
図版 3	1 前方部削平工事中の長目塚古墳（1949・50年調査）

- 2 前方部削平工事後の長目塚古墳 (1949・50年調査)
- 3 流路変更工事後の東岳川 (1949・50年調査)
- 図版 4 1 長目塚古墳全景 (1949・50年調査)
- 2 長目塚古墳前方部前面 (1949・50年調査)
- 図版 5 1 長目塚古墳後円部 (1949・50年調査)
- 2 長目塚古墳前方部側面 (南から) (1949・50年調査)
- 図版 6 1 長目塚古墳前方部墳頂 (後円部から) (1949・50年調査)
- 2 切断された長目塚古墳の前方部 (後円部から) (1949・50年調査)
- 図版 7 1 長目塚古墳前方部南側面の葺石と埴輪列 (1949・50年調査)
- 2 長目塚古墳前方部側面の葺石 (撮影位置特定困難) (1949・50年調査)
- 図版 8 1 長目塚古墳前方部墳頂の敷石と断面 (前方部石室北側) (1949・50年調査)
- 2 長目塚古墳前方部墳頂の敷石 (1949・50年調査)
- 図版 9 1 長目塚古墳前方部石室の天井石 (西から) (1949・50年調査)
- 2 天井石除去直後の前方部石室 (西から) (1949・50年調査)
- 図版 10 1 前方部石室北側壁 (1949・50年調査)
- 2 前方部石室西小口壁 (1949・50年調査)
- 図版 11 1 前方部石室東小口壁 (1949・50年調査)
- 2 前方部石室遺物出土状況 (頭蓋骨周辺, 西から) (1949・50年調査)
- 図版 12 1 上鞍掛塚 A 古墳と長目塚古墳 (1949・50年調査)
- 2 上鞍掛塚 A 古墳 (1949・50年調査)
- 3 鞍掛塚 A 古墳 (1949・50年調査)
- 図版 13 1 南から阿蘇谷を望む (中央が中通古墳群)
- 2 大観峰から阿蘇谷を望む (中央やや左が中通古墳群)
- 図版 14 1 小嵐山から長目塚古墳を望む
- 2 長目塚古墳近景
- 図版 15 鉄刀 (左: 佩表, 中: 佩裏, 右上: 茎部側面, 右下: 茎部棟面)
- 図版 16 鉄鏃 (1) (石室南西隅出土東) (上: 上方, 下: 上面)
- 図版 17 同反対面 (上: 下面, 下: 下方)
- 図版 18 鉄鏃 (2) (石室北西隅出土東) (左: 上面, 右: 右側面)
- 図版 19 同反対面 (左: 下面, 右: 左側面)
- 図版 20 鉄鏃 (3) (鏃身部)
- 図版 21 同反対面
- 図版 22 鉄鏃 (4) (頸部・茎部・矢柄 1)
- 図版 23 鉄鏃 (5) (頸部・茎部・矢柄 2)
- 図版 24 刀子
- 図版 25 同反対面
- 図版 26 1 鉄斧
- 2 その他の鉄片
- 図版 27 内行花文鏡
- 図版 28 玉類
- 図版 29 1 2本芯並列コイル状二重構造糸巻き (左: 石室南側壁沿い出土・鉄刀 2, 右: 石室北側壁沿い出土・鉄刀 1)
- 2 鉄鏃付着繊維 (左: No. 7, 右: No. 9)
- 3 鉄鏃矢柄口巻 (No. 22) (左: 上面, 右: 側面)

- 4 鉄鏃基部先端（未実測）
- 5 ガラス玉細部（左：連珠法，中左：再加熱，中右：押圧，右：研磨）
- 図版 30 須恵器（1）（隼・無蓋高坏・脚付短頸壺・器台・壺）
- 図版 31 同内面
- 図版 32 須恵器（2）（壺）
- 図版 33 同内面
- 図版 34 須恵器（3）（甕1）
- 図版 35 同内面
- 図版 36 須恵器（4）（甕2）
- 図版 37 同内面
- 図版 38 須恵器（5）（甕3）
- 図版 39 同内面
- 図版 40 土師器高坏（1）
- 図版 41 同内面
- 図版 42 1 土師器高坏（2）（左：側面，右：坏部内面）
2 土師器胴部
3 土師器坏（左：外面，右：内面）
4 フイゴ羽口（左：外面，右：内面）
- 図版 43 円筒埴輪（1）（口縁部1）（上：外面，下：内面）
- 図版 44 円筒埴輪（2）（口縁部2）
- 図版 45 同内面
- 図版 46 円筒埴輪（3）（胴部）
- 図版 47 同内面
- 図版 48 1 円筒埴輪（4）（口縁部・胴部）
2 円筒埴輪（5）（底部）
- 図版 49 1 円筒埴輪（4）内面
2 円筒埴輪（5）内面
- 図版 50 壺形埴輪（1）（口縁部・胴部から底部）
- 図版 51 壺形埴輪（2）（胴部から底部）
- 図版 52 壺形埴輪（3）（単口縁1）
- 図版 53 同内面
- 図版 54 壺形埴輪（4）（単口縁2）
- 図版 55 同内面
- 図版 56 壺形埴輪（5）（二重口縁）
- 図版 57 同内面
- 図版 58 壺形埴輪・円筒埴輪底部（14のみ円筒埴輪）
- 図版 59 同内面
- 図版 60 1 線刻文様（1）（円筒埴輪12）
2 線刻文様（2）（円筒埴輪11）
3 線刻文様（3）（円筒埴輪15）
4 線刻文様（4）
5 線刻文様（5）
6 線刻文様（6）
- 図版 61 刀子・鉄片 X線画像

- 図版 62 鉄鏃 X 線画像 (1)
- 図版 63 鉄鏃 X 線画像 (2)
- 図版 64 1 鉄刀 X 線画像
2 鉄斧 X 線画像
- 図版 65 1 内行花文鏡 X 線画像
2 玉類 X 線画像
- 図版 66 鉄鏃 CT 画像 (1) (石室南西隅出土束)
- 図版 67 鉄鏃 CT 画像 (2) (石室北西隅出土束)
- 図版 68 1 1962 年報告時の鉄刀 1 茎部 (石室北側壁沿い出土鉄刀)
2 1962 年報告時の玉類 (現在所在不明の小型勾玉等含む)
3 現在所在不明の線刻埴輪

挿 図 目 次

図 1	長目塚古墳出土遺物の実測作業 (2010 年 12 月)	4
図 2	カミノハナ古墳群の測量調査 (2011 年 8 月)	4
図 3	平原 6・7 号墳の測量調査 (2011 年 11 月)	4
図 4	平原 6 号墳の発掘調査 (2013 年 9 月)	4
図 5	平原 6 号墳の墳丘	5
図 6	平原 6 号墳の葺石	5
図 7	平原 6 号墳出土の壺形埴輪 (単口縁)	5
図 8	平原 6 号墳墳丘形態復元図 (2013 年度調査までの成果による)	6
図 9	長目塚古墳の位置	11
図 10	阿蘇地域の地形と中通古墳群の位置	12
図 11	中村徳五郎による中通古墳群古墳分布図 (左) および平井古墳出土遺物 (右)	12
図 12	乙益重隆による中通古墳群古墳分布図	13
図 13	車塚 A 古墳横の石室の発見場所 (矢印の位置)	13
図 14	車塚 A 古墳横の石室 (1)	13
図 15	車塚 A 古墳横の石室 (2)	13
図 16	車塚 A 古墳横の石室 (3)	13
図 17	森山栄一による中通古墳群古墳分布図 (一部改変)	14
図 18	熊本県教育委員会による中通古墳群古墳分布図	15
図 19	乙益 1962 および岩崎・山下編 1994 による上鞍掛塚 B 古墳の墳丘測量図	17
図 20	乙益 1962 および岩崎・山下編 1994 による鞍掛塚 A 古墳の墳丘測量図	18
図 21	東岳川西側所在古墳の墳丘測量図	20
図 22	東岳川東側所在古墳の墳丘測量図	21
図 23	1962 報告掲載の長目塚古墳墳丘測量図	24
図 24	1994 熊大報告掲載の長目塚古墳墳丘測量図	24
図 25	長目塚古墳前方部の葺石・埴輪配列・土器出土位置および横断面図	25
図 26	長目塚古墳の前方部石室および遺物出土状況	25
図 27	1962 報告掲載の前方部石室出土鉄刀・鉄鏃・刀子・鉄斧実測図	28

図 28	1962 報告掲載の前方部石室出土鏡・玉類実測図	29
図 29	前方部石室出土人歯実測図	29
図 30	1962 報告掲載の墳丘出土土器実測図	31
図 31	1962 報告掲載の埴輪復元図・実測図	31
図 32	鉄刀実測図	35-36
図 33	長目塚古墳出土鉄鏃模式図	37
図 34	鉄鏃実測図 (1)	38
図 35	鉄鏃実測図 (2)	39
図 36	鉄鏃実測図 (3)	40
図 37	鉄鏃実測図 (4)	41
図 38	刀子実測図	46
図 39	鉄斧実測図	48
図 40	鏡実測図	49
図 41	玉類実測図	51
図 42	須恵器実測図 (1)	58
図 43	須恵器実測図 (2)	59
図 44	1962 報告掲載須恵器実測図	62
図 45	土師器実測図	64
図 46	長目塚古墳出土埴輪推定復元図	69
図 47	大型円筒埴輪実測図 (1)	72
図 48	大型円筒埴輪実測図 (2)	73
図 49	大型円筒埴輪実測図 (3)	74
図 50	中型円筒埴輪実測図	76
図 51	横方向の微細な条線 (24 の口縁部内面)	76
図 52	壺形埴輪実測図 (1) (単口縁)	77
図 53	壺形埴輪実測図 (2) (二重口縁)	78
図 54	壺形埴輪実測図 (3)	79
図 55	埴輪線刻拓影	80
図 56	フイゴ羽口実測図	83
図 57	熊本県地域における首長墓系譜 (杉井 2010 を一部改変)	87
図 58	阿蘇神社所蔵土器実測図 (坂本 1962 掲載分)	199
図 59	阿蘇神社所蔵土器実測図 (島津編 1980 掲載分)	199
図 60	東手野古墳群の箱式石棺実測図 (乙益 1962 掲載)	200
図 61	丸山第 1 号石棺の現状 (1)	200
図 62	丸山第 1 号石棺の現状 (2)	200
図 63	丸山第 1 号石棺の現状 (3)	200
図 64	丸山第 2 号石棺の現状	201
図 65	秋葉権現塚の石棺の現状	201
図 66	2011 年までに所在を確認した樋合島・永浦島の古墳	201
図 67	カシノキ島古墳群遠景 (丸の位置に石棺 1 露出)	202
図 68	カシノキ島古墳群の石棺 1(1)	202
図 69	カシノキ島古墳群の石棺 1(2)	202
図 70	カシノキ島古墳群の石棺 2	202
図 71	カシノキ島の鼻の海岸にある砂岩転石	202

表 目 次

表 1	鉄鍬各部位の計測値 (1)	42
表 2	鉄鍬各部位の計測値 (2)	43
表 3	刀子各部位の形状・計測値	47
表 4	ガラス玉一覧表 (1)	52
表 5	ガラス玉一覧表 (2)	53
表 6	ガラス玉一覧表 (3)	54
表 7	土師器観察表	65
表 8	土師器同一個体の検討および 1962 報告との対応関係	65
表 9	埴輪観察表 (1)	81
表 10	埴輪観察表 (2)	82